

令和2年度 第12回 地方独立行政法人長崎市立病院機構 理事会

【議事抄録】

1 日 時 令和2年9月10日（木） 13時30分から15時35分

2 場 所 長崎みなとメディカルセンター 醫聖ホール

3 出席者 12名

○理事会組織構成役員出席者数 9名

片峰理事長、門田副理事長、増崎副理事長、草野理事、三藤理事、森理事、
荒木理事、原理事、福崎理事

○監事 2名

白石監事、有田監事

○経営戦略アドバイザー 1名

廣瀬弥幸氏

4 審議事項1 令和2年度 第11回理事会議事録の確定

9月3日に開催した第11回理事会の議事録について、事務局案に対して特に異議はなく確定した。

5 審議事項2 経営改革方針について

副理事長、理事及び経営戦略アドバイザーの3名から、当院の経営改革方針について、それぞれ資料に基づき説明があり、意見交換がなされた。

なお、本件については、今後も継続的に審議を行うこととなった。

6 報告1 令和元年度及び第2期中期目標期間の業務実績に関する評価結果について

本件について、8月4日、5日及び11日に開催された地方独立行政法人長崎市立病院機構評価委員会での意見を踏まえた評価結果が長崎市長より通知された旨、事務局から資料に基づき報告があった。

7 報告2 医師の働き方改革に関するタスクフォースの取り組みについて

医師のうち4月から7月までの間、1か月の時間外労働時間が40時間を超えた人数について、担当理事から資料に基づき報告があった。

8 報告3 費用削減対策に関するタスクフォースの取り組みについて

担当理事から科目ごとの費用削減見込額について、資料に基づき報告があった。

なお、材料費のうち薬品費については、入札等の実施及びジェネリック医薬品への変更により、昨年度同様の使用量であった場合、大幅な削減見込みであると説明があった。

9 報告4 適切な保険診療に向けてのタスクフォースの取り組みについて

委員長から現在の進捗状況、新たな取り組み項目及び今後の課題について、資料に基づき報告があった。

なお、適切な保険診療に向けてのタスクフォースは終了し、今後はモニタリングメインで活動すると報告があった。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。